



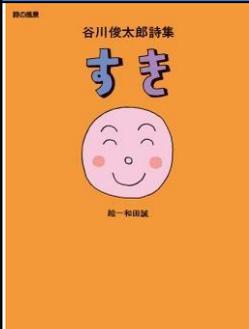
四街道こどもブックリスト

YOTSUKAIDO KODOMO BOOKLIST

高学年向け 5・6 grade

Part 2

「すき」



ひらがなと平易な言葉で書かれた詩ですが、読んでいくと様々な解釈ができます。大人になってもう一度読みたい詩。

谷川俊太郎 理論社

「注文の多い料理店 ほか」

注文の多い料理店



道にまよった二人の紳士が入った西洋料理店。「どなたさまお入りください」と書かれた扉を開けると、また扉があり、たくさんの扉の注文にしたがっていくと・・・。

宮澤賢治 岩崎書店 ほか

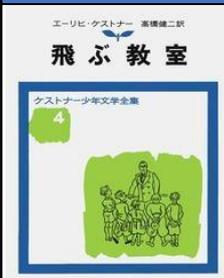
「天と地を測った男」



江戸時代、今のような測量技術のない中、驚くほど正確な日本地図を書き上げた伊能忠敬の生涯を描く。

岡崎ひでたか かもん出版

「飛ぶ教室」



さまざまな境遇や個性をもった少年たちが、寄宿学校の生活の中で、互いの友情や先生との信頼を深めています。ある日、仲間が他の学校の生徒に捕まってしまう。

ケストナー 岩波書店

「夏の庭」



「死んだ人が見てみたい」小6仲良し3人組の少年たちは、町はずれの一人暮らしのおじさんを見張り始めます。ひと夏の心にしみ入る物語。

湯本香樹実 徳間書店

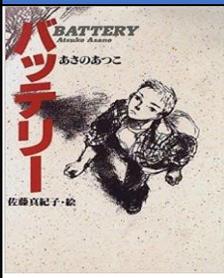
「西の魔女が死んだ」



西の魔女が死んだ。まいは学校で知らせをうける。二年前の中一の五月、学校になじめず、西の魔女こと、おばあちやと過ごした一ヶ月余りを思い出す。

梨木香歩 新潮社

「バッテリー」



「たぶん、最高のバッテリーになる」物語の始まりは、中学校入学前の春休み。ピッチャーの巧みはキャッチャーの豪と出会う。野球、思春期の悩み、友情を描く物語。全6巻。

あさのあつこ 教育画劇

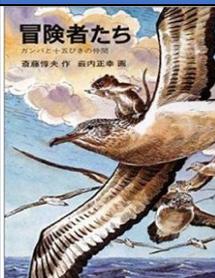
「ピアノはともだち」



生まれて間もなく、「生涯目が見えるようになることはない。」と宣告を受けた辻井伸行が豊かな色彩あふれるピアノ演奏ができるようになる過程に感動します。

こやまのの 講談社

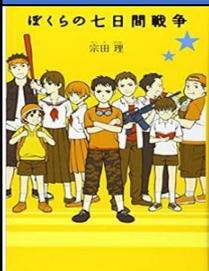
「冒険者たち」



ドブネズミのガンバと仲間となった15匹が船に乗り込み、イタチのノロイ一族と勇敢に戦う場面に引きずり込まれてしまいます。

斎藤孝夫 岩波書店

「ぼくらシリーズ」



夏休みを前にした終業の日、東京下町の中学校の1年2組の男子生徒たちが姿を消した。廃工場に立てこもった彼らと、大人たちとの大戦争がはじまる！

宗田理 ポプラ社

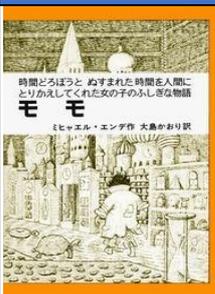
「マザー・テレサ」



貧しい人々のために働きたい・・・と、ひとりスラム街に飛び込んだシスター・テレサ。心の豊かさ、愛を求めた彼女の活動は世界へ・・・。

リチャード・テーマス 偕成社

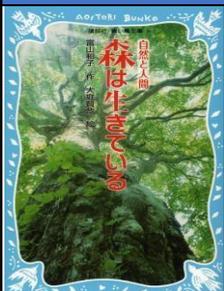
「モモ」



ある町にやって来た少女モモ。住民たちと仲良く暮らしていたが、知らぬ間に町には時間どろぼうの男たちが。モモはみんなの時間を取り返せるのか？

ミヤエル・エンデ 岩波書店

「森は生きている」



日本の国土は7割が森林。森林に恵まれたことで木材や水や土も豊かとなり、それらの恵みをたくさん受けて日本人は暮らしを築いてきたことに気づかされます。

富山和子 講談社

「ライト兄弟はなぜ飛べたのか」



本を読み進めながら自分でも紙飛行機を作ること、ライト兄弟がどのような工夫をして飛行機を作ったのかがよくわかる体験型の本です。

いせひでこ 講談社

「ルリルールおじさん」



女の子の壊れたお気に入りの本を直すルリルールおじさんと女の子のお話です。ふわっとした絵がとても美しく、読んだ後にやさしい気持ちになります。

土佐幸子 さえら書房